

プログラム

5月18日(土)【第1会場】

9:05~9:35

開会式・会長講演

S P 第1会場

座長：宇和川 匡（東京慈恵会医科大学 腫瘍センター）

PL 私たちの夢をかなえる がん支持医療 (Cancer Supportive Care Makes Our Dreams Come True)

帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 /

第9回日本がんサポーターブケア学会学術集会 (#JASCC24) 会長 渡邊 清高

9:40~11:10

委員会企画 1

S P 第1会場

地域に根ざすがん支持医療の実現を行政とともに考える

座長：佐伯 俊昭（埼玉医科大学国際医療センター病院長）

田村 和夫（特定非営利活動法人臨床血液・腫瘍研究会）

コメンテーター：轟 浩美（認定NPO法人 希望の会）

CP1-1 がん支持医療を広く国民に届けるために

東京慈恵会医科大学 腫瘍センター 宇和川 匡

CP1-2 がんとの共生を目指して

厚生労働省 がん・対策疾病対策課 西嶋 康浩

CP1-3 がん患者のウェルビーイングに向けた埼玉県の取組

埼玉県保健医療部 疾病対策課 鈴木久美子

CP1-4 がん対策推進に向けた東京都の施策（支持療法推進の取組など）

東京都保健医療局医療政策部 田村 光平

11:20~12:30

ワーキンググループ企画 1

第1会場

患者の視点で考える 在宅医療の質の向上を目指した薬を取り巻く多職種の関わり

座長：岡本 禎晃（公立大学法人敦賀市立看護大学 薬理学）

桜井なおみ（一般社団法人CSRプロジェクト）

WG1-1 在宅医療の質向上を目指した情報共有と多職種連携の活性化に向けて

帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 渡邊 清高

WG1-2 適切ながん治療を提供するために、保険薬局薬剤師としてすべきこと～事例を通して思うこと～

株式会社フロンティア フロンティア薬局 武庫川駅前店 徳垣 典子

WG1-3 在宅医療同行の経験から見えた病院薬剤師としてできること

西日本旅客鉄道株式会社大阪鉄道病院 薬剤部 加藤 麻衣

15:00~16:20

会長企画(特別企画) 1

E 第1会場

Up to date in Korean & Japanese supportive care for nutrition & cachexia in cancer patients

Chairs : Koichi Takayama (Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan)
Hei-Cheul Jeung (Yonsei University, Korea)

- PSP1-1 **How to assess advanced cancer patients with cachexia in supportive and palliative care?**
Department of Supportive and Palliative Care, Osaka International Cancer Institute, Japan Koji Amano
- PSP1-2 **The Role of Nursing in Cancer Cachexia Care: A Japanese Perspective**
Shizuoka Cancer Center, Japan/
Graduate School of Nursing Science, St. Luke's International University, Japan Rika Sato
- PSP1-3 **Clinical Implication of Cachexia and Sarcopenia in Korean Cancer Patients**
Division of Hematology/Oncology, Department of Internal Medicine,
Gyeongsang National University Changwon Hospital,
Gyeongsang National University College of Medicine, Korea/
Korean Academy of Supportive Care in Cancer (KASCC) Se-Il Go
- PSP1-4 **Supportive care of cachexia in cancer patients undergoing chemotherapy**
Professor, Division of Medical Oncology, Department of Internal Medicine,
Yonsei University College of Medicine, Korea/
Chief, Palliative Care Center, Yonsei Cancer Center, Yonsei University Health System, Korea Minkyu Jung

16:40~17:40

教育シンポジウム 1

第1会場

放射線治療中に見られる倦怠感への対応：実臨床とエビデンス

座長：全田 貞幹(国立がん研究センター東病院)

- ESY1-1 **放射線治療中に見られる倦怠感への対応
ー臨床における看護師によるアセスメントとケアー**
がん研究会有明病院 看護部 後藤 志保
- ESY1-2 **がん関連倦怠感に対する支持療法としての運動療法の可能性**
関西医科大学 リハビリテーション学部 福島 卓矢

17:50~19:00

PPI(患者・市民参画)セッション 1

P 第1会場

患者・市民参画(PPI)によるがんサポーターティブケア臨床研究に挑戦する

座長：桜井なおみ(一般社団法人CSRプロジェクト)
太良 哲彦(相良病院 腫瘍内科・緩和ケア科)

- PPI1-1 **サポーターティブケアにおける患者・市民参画と学会への期待**
一般社団法人全国がん患者団体連合会 天野 慎介
- PPI1-2 **患者・市民参画があるサポーターティブケア臨床研究はここが違う**
昭和大学保健医療学部 渡邊 知映
- PPI1-3 **乳がん患者の再発恐怖軽減のためのスマホアプリの開発と有用性の検証：PPIの役割と期待**
名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 明智 龍男
- PPI1-4 **拳児希望のある乳がん術後女性がホルモン療法を中断して妊娠を試みる国際共同研究
POSITIVE試験に参加して**
がん研究会有明病院 乳腺センター 乳腺外科 片岡 明美

5月18日(土)【第2会場】

9:40~11:10

JASCC & MASCC Joint Symposium

E 第2会場

CINV update

Chair: Mitsue Saito (Juntendo University, Japan)

Commentators: Matti S Aapro (President SPCC, Genolier Cancer Center, Genolier, Switzerland)

Mitsue Saito (Juntendo University, Japan)

JMS-1 MASCC-ESMO Antiemetics Guidelines, Things to Know

MDPhD Medical Oncologist Head Patient Pathway Division,
Gustave Roussy, Villejuif, France

Florian Scotté

JMS-2 Olanzapine as an antiemetic from the J-FORCE study

National Cancer Center Hospital, Pharmacy Division, Japan

Hironobu Hashimoto

JMS-3 Antiemetic Strategies Across Multiple Trial Designs for Anticancer Therapies

Gifu University Hospital, Japan

Hirotoshi Iihara

12:50~13:50

ランチョンセミナー 1

第2会場

共催: 小野薬品工業株式会社

座長: 関根 郁夫 (筑波大学 医学医療系 臨床腫瘍学 教授)

LS1-1 がん悪液質の将来像

～医療従事者と患者家族の経験をふまえて～

静岡県立静岡がんセンター 支持療法センター長 兼 呼吸器内科 医長

内藤 立暁

LS1-2 がん悪液質の集学的治療

各専門職の役割と連携の重要性

京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授

高山 浩一

15:00~16:30

ワーキンググループ企画2 (日本腫瘍循環器学会共催企画)

第2会場

腫瘍循環器領域を担う医療リソースの育成

座長: 宇和川 匡 (東京慈恵会医科大学 腫瘍センター)

向井 幹夫 (大阪国際がんセンター 成人病ドック科)

コメンテーター: 関根 郁夫 (筑波大学医学医療系 臨床腫瘍学)

藤阪 保仁 (大阪医科薬科大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学)

WG2-1 がん診療の現場で: 腫瘍循環器医の役割

国立がん研究センター東病院 循環器科

田尻 和子

WG2-2 がん診療の現場で: 看護師の役割

国立がん研究センター東病院

近藤 美紀

WG2-3 がん診療における循環器医と薬剤師の連携ポイント

地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院 循環器内科

北原 康行

WG2-4 腫瘍循環器領域における医療連携～薬剤師の立場から～

地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院 薬剤科

齊藤 瑠那

Exercise Oncology—身体活動・運動が持つ可能性—

座長：辻 哲也 (慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室)

越智 英輔 (法政大学大学院 スポーツ健康学研究科)

WG3-1 身体活動・運動の運動機能への効果

福島県立医科大学保健科学部 理学療法学科 森下慎一郎

WG3-2 身体活動・運動のQOL・精神心理面への効果

国立看護大学校 清水 陽一

WG3-3 身体活動・運動のがん関連倦怠感への効果

神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター リハビリテーション部門 井上順一郎

WG3-4 身体活動・運動によって期待されるアウトカム ～ Exercise Oncologyの今後の展望～

がん研究会有明病院 乳腺内科 高野 利実

5月18日(土)【第3会場】

9:40~11:10

プログラム委員会企画1

第3会場

薬剤開発における支持療法研究の実施

座長：古川 孝広(がん研究会有明病院 先端医療開発科)
内藤 陽一(国立がん研究センター東病院 総合内科)

- PC1-1 支持療法の機器開発の実際～どうやって交渉し、評価し、進めるか～
国立がん研究センター東病院 先端医療科/国立がん研究センター東病院 腫瘍内科 船坂知華子
- PC1-2 化学療法誘発性末梢神経障害をどう評価するか？
千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学 三澤 園子
- PC1-3 がんの臨床試験における皮膚障害の管理
都立駒込病院 西澤 綾
- PC1-4 臨床試験における眼障害の管理
国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科 鈴木 茂伸
- PC1-5 第1相試験における嘔気と口内炎の管理
国立がん研究センター東病院 総合内科 内藤 陽一

プログラム

11:20~12:30

会長提案企画1

S P 第3会場

メディアドクター in がんサポーターズケア学会：がん研究の成果をどう発信するか

座長：佐藤 正恵(千葉県済生会習志野病院)
大野 智(島根大学医学部附属病院 臨床研究センター)

- PP1-1 研究者・医療者と患者・市民をつなぐプレスリリースの評価
京都薬科大学 非常勤講師 北澤 京子
- PP1-2 医療研究開発の成果発信に関する課題：AMED「社会共創」の取組から
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 勝井 恵子
- PP1-3 日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)の取り組む研究成果の発信
がん研究会有明病院 血液腫瘍科 丸山 大
- PP1-4 ジャーナリストが考える医療・研究情報の発信
日本経済新聞社 前村 聡

12:50~13:50

ランチョンセミナー2

第3会場

共催：大鵬薬品工業株式会社

座長：山本 信之(和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科 教授)

- LS2 がん化学療法における最新の悪心・嘔吐対策2024
～少し強めの支持療法を、引き算の発想で～
小樽掖済会病院 外科 副院長/
日本癌治療学会 制吐薬適正使用ガイドライン改訂ワーキンググループ 副委員長 沖田 憲司

15:00~16:00

PPI (患者・市民参画) セッション2

第3会場

自宅で実施できる運動プログラムの体験—運動で夢をかなえる—

座長：田沼 明 (順天堂大学医学部附属静岡病院 リハビリテーション科)

PPI2-1 運動をはじめてみませんか

順天堂大学医学部附属静岡病院 リハビリテーション科 田沼 明

PPI2-2 なぜ運動をした方が良いでしょうか

法政大学大学院 スポーツ健康学研究科 越智 英輔

PPI2-3 実際に運動を体験してみましょう

法政大学 スポーツ研究センター 街 勝憲

PPI2-4 自宅で実施できる運動プログラムの体験

一般社団法人まめつつ 石山 美行

16:10~17:10

スイーツセミナー 1

第3会場

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

座長：瀬尾 幸子 (東京女子医科大学 内科学講座 血液内科学分野 教授・基幹分野長)

SS1-1 システマティックな周術期口腔機能管理の取り組み

近畿大学医学部 歯科口腔外科 教授 榎本 明史

SS1-2 造血幹細胞移植における口腔ケア

近畿大学病院 歯科口腔外科 歯科衛生士 技術主任 鳥畑 さやか

17:20~18:30

部会企画 1

第3会場

粘膜炎と漢方

座長：元雄 良治 (福井県済生会病院 内科)

上野 尚雄 (国立がん研究センター中央病院 歯科)

SP1-1 粘膜炎と漢方：基礎研究の立場から

順天堂大学薬学部 薬物治療学研究室 / 東京慈恵会医科大学医学部 疼痛制御研究講座 /

国立がん研究センター中央病院 歯科 宮野加奈子

SP1-2 粘膜炎と漢方：臨床の立場から

埼玉医科大学国際医療センター 近藤 奈美

5月18日(土)【第4会場】

9:40~11:10

プログラム委員会企画2

第4会場

多職種チームならではの周術期のがんリハビリテーション

座長：杉原 進介(国立病院機構四国がんセンター リハビリテーション科)
立松 典篤(名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻)

PC2-1 多職種医療チームによる消化器がんの周術期リハビリテーション

神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター リハビリテーション部門 井上順一郎

PC2-2 多職種チームによるがんリハビリテーションの取り組みと周術期在院日数削減への取り組み

大阪府立病院機構大阪国際がんセンター/堺市立病院機構堺市立総合医療センター 原 尚志

PC2-3 脳神経外科、整形外科病棟における多職種チームでのリハビリテーション

大阪府立病院機構大阪国際がんセンター リハビリテーション科 藤井 美希

PC2-4 演題取り下げ

PC2-5 周術期のがんリハビリテーションにおける多職種チーム医療の進むべき道とは

国立病院機構四国がんセンター リハビリテーション科 杉原 進介

11:20~12:30

プログラム委員会企画3

第4会場

周術期におけるリハビリテーションの最前線と課題

座長：佐藤 弘(埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科)
辻 哲也(慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室)

PC3-1 基調講演：外科医の立場から

埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 佐藤 弘

PC3-2 リハビリテーション科医の立場から

慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室 辻 哲也

PC3-3 がん手術を支援するプレハビリテーションの実践と課題

済生会横浜市東部病院 患者支援センター 谷口 英喜

PC3-4 術後合併症の予防と機能回復を目指した周術期のリハビリテーションと課題

神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部 牧浦 大祐

PC3-5 乳房再建術後のリハビリテーション

大阪府立病院機構大阪国際がんセンター リハビリテーション科 藤井 美希

PC3-6 発話機能および摂食嚥下機能の「見える化」を目指した定量的解析

愛知県がんセンター リハビリテーション部 高津 淳

PC3-7 脳腫瘍の周術期リハビリテーション治療

－「その人らしさ」の温存を目指して－

慶應義塾大学病院 リハビリテーション科 小島 一宏

12:50~13:50 ランチョンセミナー3

第4会場

共催：協和キリン株式会社

座長：津端 由佳里（島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 診療教授）

LS3 肺がん化学療法における副作用マネジメント～irAE、発熱性好中球減少症など～

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 医長 善家 義貴

15:00~16:00 教育セッション1

第4会場

座長：山崎 直也（国立がん研究センター中央病院）

ES1 皮膚障害対策から始まる多職種連携

聖隷浜松病院 平川 聡史

16:10~17:10 スイーツセミナー2

第4会場

共催：メルクバイオファーマ株式会社

チーム医療による副作用マネジメント～皮膚症状～

座長：清原 祥夫（静岡県立静岡がんセンター 皮膚科）

SS2 チームで支えあう！がん薬物療法で起こる皮膚症状のマネジメント

聖マリアンナ医科大学病院 緩和ケアセンター 中村 千里

17:20~18:30 会長提案企画2

第4会場

がん研究の情報発信はどうあるべきか（メディアドクター研究会との協働企画）

座長：大野 智（島根大学医学部附属病院 臨床研究センター）
岸田 徹（NPO 法人がんノート）

PP2-1 信頼できる医療・健康情報をどう探すか（医学図書館司書の視点から）

千葉県済生会習志野病院 図書室 佐藤 正恵

PP2-2 ちまたにあふれるがん情報をどう読み解くか

京都薬科大学 非常勤講師 北澤 京子

PP2-3 がん研究や医療の情報発信のあり方を患者目線で考える

NPO 法人がんノート 岸田 徹

PP2-4 分かりやすい情報の伝え方について考える

国立がん研究センター中央病院 石木 寛人

5月18日(土)【第5会場】

9:40~11:10

ワーキンググループ企画4

S P 第5会場

がんサバイバーのニーズに基づいたサバイバーシップ関連情報の内容と発信はどうあるべきか

座長：高橋 都 (NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク)
佐々木治一郎 (北里大学医学部新世紀医療開発センター 横断的医療領域開発部門 臨床腫瘍学)

WG4-1 よりよく生きるための、サバイバーシップ情報と研究の未来像

一般社団法人CSRプロジェクト/キャンサーソリューションズ株式会社 桜井なおみ

WG4-2 がんが治っても“なぜこんなに苦しいのだろう”～ピアサポート活動の意義と展開の難しさ～

認定NPO法人オレンジティ 矢後 綾子

WG4-3 がんサバイバーのニーズに基づいた情報発信：情報支援サイト『AYA世代のがんとくらしサポート』運営における研究者の学び

武蔵野大学 看護学研究所 土屋 雅子

WG4-4 がん情報を取り巻く環境の変遷と民間がん情報サイトの役割 ～患者主導ではない、ネット上の支援団体の立場から～

3Hメディソリューション株式会社/エムスリー株式会社 可知 健太

11:20~12:30

部会企画2

第5会場

専門的がん疼痛治療連携・相談体制の構築

座長：馬渡 弘典 (横浜南共済病院 緩和治療科)
三浦 智史 (国立がん研究センター東病院)

SP2-1 難治性がん疼痛治療における医療連携・相談体制の構築

がん研究会有明病院 緩和治療科 松本 禎久

SP2-2 がん疼痛に対する緩和的IVR～奈良県での連携体制について～

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR学講座/
奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター 西尾福英之

SP2-3 緩和的放射線治療の院内・院外連携の構築

埼玉医科大学総合医療センター 放射線腫瘍科 高橋 健夫

SP2-4 専門的がん疼痛治療webコンサルテーションシステムについて

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科/順天堂大学大学院 緩和医療学 里見絵理子

12:50~13:50

PPI ランチョンセミナー 1

P優先 第5会場

共催：ファイザー株式会社

座長：渡邊 知映 (昭和大学保健医療学部 教授)

PLS1 伝える、伝わる ～3はマジックナンバー～

一般社団法人CSRプロジェクト 代表理事 桜井なおみ

15:00~16:30

ワーキンググループ企画5

第5会場

支持療法としてのアピアランスケアとそのエビデンス

 座長：野澤 桂子(目白大学看護学部 看護学科)
 清水千佳子(国立国際医療研究センター病院)

WG5-1 抗がん剤治療における支持療法としてのアピアランスケアとそのエビデンス

国立がん研究センター中央病院 下井 辰徳

WG5-2 分子標的療法におけるアピアランスケア

静岡県立静岡がんセンター 皮膚科 吉川 周佐

WG5-3 支持療法としてのアピアランスケアとそのエビデンス：放射線療法

順天堂大学医学部附属浦安病院 齋藤アンネ優子

WG5-4 日常整容を用いたアピアランスケア

国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター 藤間 勝子

16:40~17:10

優秀演題セッション

第5会場

優秀演題セッション

 座長：山本 信之(和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科)
 市川 靖子(帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科)

BP-1

 最優秀賞
 一般部門

消化器がん悪液質に対するアナモレリン塩酸塩の治療成績に関する多施設共同後方視的観察研究(HGCSG2201) – 早期中止と関連する因子の探索的検討 –

富山大学附属病院 臨床腫瘍部 梶浦 新也

BP-2

 最優秀賞
 一般部門

膵がんにおける Accelerated Starvation に関する検討

国立がん研究センター先端医療開発センター バイオマーカー探索トランスレーショナルリサーチ分野 /

国立がん研究センター東病院 薬剤部 鈴木 秀隆

BP-3

 奨励賞
 患者・当事者部門

がん患者に対する困った配慮に関するPPIワークショップ

NPO法人肺がん患者の会ワンステップ 米澤 晴美

BP-4

 最優秀賞
 若手・学生部門

がんサバイバーの自覚症状が労働能力に与える影響の検討

理化学研究所 先端データサイエンスプロジェクト 華井 明子

17:20~18:20

教育セッション2

第5会場

がん患者における気持ちのつらさガイドライン

 座長：奥山 徹(名古屋市立大学医学部附属西部医療センター)
 佐藤 温(弘前大学大学院医学研究科 腫瘍内科学講座)

ES2-1 気持ちのつらさへの対応原則と心理・薬物療法

慶應義塾大学医学部 医療安全管理部 / 精神神経科 藤澤 大介

ES2-2 エビデンスに基づく多職種による気持ちのつらさへの介入

日本医科大学 医療心理学教室 吉川 栄省

5月18日(土)【第6会場】

9:40~11:10

会長企画(特別企画)2

S P 第6会場

AYA研・JASCC合同企画「みんなでがん教育に取り組もう！」

座長：楠木 重範(遊育園こどもクリニック)
高野 利実(がん研究会有明病院)

PSP2-1 がん教育で授業する際に意識していること～がん経験者の立場から～

NPO法人がんノート 岸田 徹

PSP2-2 がん教育の外部講師ってどんなことするの？～未来を生きる子どもたちへがん専門医編

国立国際医療研究センター がん総合診療センター サバイバーシップ支援科 谷山 智子

PSP2-3 学校だけじゃないがん教育～AYA Week 2024教育チームの取り組み～

医療法人財団はるたか会訪問看護ステーションあおぞら京都 宗 皓
メイプル薬局 梶 文祥
聖マリアンナ医科大学 竹内 愛莉
fLy 田中 芙美
遊育園こどもクリニック 楠木 重範
がん研究会有明病院 高野 利実

プログラム

11:20~12:40

委員会企画2

第6会場

症状から系統的に学ぶ～倦怠感(Cancer-related fatigue)～

座長：東 光久(奈良県総合医療センター)
荒尾 晴恵(大阪大学大学院医学系研究科)

CP2-1 倦怠感(CRF)のメカニズム・病態、治療

たけお内科クリニック からだと心の診療所/水谷クリニック 大武 陽一

CP2-2 がん患者における倦怠感の評価

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 精神科・緩和ケアセンター 奥山 徹

CP2-3 倦怠感(CRF)～薬剤師の視点から～

日本医科大学付属病院 化学療法科 井ノ口岳洋

CP2-4 倦怠感のあるがん患者のセルフマネジメントを促進する非薬理的介入

大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 青木 美和

12:50~13:50

ランチョンセミナー4

第6会場

共催：株式会社ツムラ

座長：宇和川 匡(東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍センター センター長)

LS4 がんサポーターケアにおける漢方の意義と活用法

高松赤十字病院 腫瘍内科(兼)化学療法科 部長 西内 崇将

15:00~16:40

委員会企画3

第6会場

がんとむくみをもっと知ろう！～うまく付き合うために～講義と実技

座長：新井 直子(帝京大学医療技術学部 看護学科)

CP3-1 がんとむくみをもっと知ろう！～うまく付き合うために～講義と実技

リムズ徳島クリニック

小川 佳宏

久留米大学 放射線腫瘍センター

淡河恵津世

CP3-2 【演習】運動療法と3Dスキャナーを用いた浮腫の測定

埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科

高倉 保幸

埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科

清水 夏生

CP3-3 複合的治療における圧迫療法

医療法人財団順和会山王病院

吉澤いづみ

指導者：作田 裕美(大阪公立大学大学院 看護学研究科)

小川 佳宏(リムズ徳島クリニック)

新井 直子(帝京大学医療技術学部 看護学科)

淡河恵津世(久留米大学 放射線腫瘍センター)

加藤るみ子(静岡県立静岡がんセンター)

坂本 大悟(東京慈恵会医科大学附属病院 リハビリテーション科)

高倉 保幸(埼玉医科大学)

清水 夏生(埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科)

山本 優一(北福島医療センター)

吉澤いづみ(医療法人財団順和会山王病院)

16:50~18:00

会長提案企画3

S P 第6会場

JASCC版「地域の患者さん支援のための情報づくりと普及プランを考える研修会」

座長：増田 昌人(琉球大学病院 がんセンター)

轟 浩美(認定NPO法人 希望の会)

PP3-1 北海道における情報づくりから、ネットワークづくりへ

北海道がんセンター がん相談支援センター

木川 幸一

PP3-2 患者さんの役に立つ地域の情報づくりと普及についてー「おきなわ がんサポート ハンドブック」編集・発行・無料配布14年間の経験を中心にー

琉球大学病院 がんセンター

増田 昌人

PP3-3 当事者として、地域の情報と連携に期待すること

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会

松本 陽子

5月18日(土)【E-Poster会場1】

9:40~10:45

ポスターセッション1

E-Poster会場1

Cachexia・栄養1

ファシリテーター：内藤 立暁(静岡県立静岡がんセンター)
天野 晃滋(大阪国際がんセンター 支持・緩和医療科)

PS1-1 アナモレリン処方開始時期と予後との関連

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科 勝島 詩恵

PS1-2 Exploring Nutritional Cognition in Cancer Patients Facing Weight Loss

National Taipei University of Nursing and Health Sciences Tzufang Chen

PS1-3 味覚障害を呈した前立腺がん脳底部骨転移放射線治療後の1例～栄養サポート外来の意義

日本赤十字社長崎原爆病院 緩和ケア内科 大原 寛之

PS1-4 当院の肝細胞癌患者における低亜鉛血症と亜鉛補充

自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科 浅野 岳晴

PS1-5 化学療法を受けた骨髄腫関連疾患患者の味覚障害発症頻度及び関連要因について(後方視的コホート研究)

奨励賞
若手・学生部門

三重大学大学院医学系研究科看護学専攻 実践基礎看護学分野 遠目塚 淳

PS1-6 AWGC悪液質診断基準における低握力の意義：後方視的コホート研究

愛知医科大学 緩和ケアセンター 坂口 達馬

PS1-7 TC療法時の味覚障害と栄養摂取

帝京平成大学 健康メディカル学部 健康栄養学科 牟田真理子

PS1-8 緩和ケアに携わる管理栄養士の業務内容と専門性の検討

東京家政学院大学 人間栄養学部 人間栄養学科 /
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 精神行動医学分野 腰本さおり

PS1-9 悪液質を伴う進行再発胃癌の化学療法に対するプロシユアの有用性に関する第II相試験

堺市立総合医療センター 川端 良平

10:55~11:25

ポスターセッション2

E-Poster会場1

妊孕性

ファシリテーター：片岡 明美(がん研究会有明病院 乳腺センター)
中村 晃和(大阪府済生会吹田病院 診療統括部・泌尿器科/京都府立医科大学 泌尿器科)

PS2-1 妊孕性温存外来におけるCAYA世代がん患者への薬剤師によるサポーターケア

埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 長谷川まゆみ

PS2-2 妊娠中期以降に頭頸部がんと診断されがん治療選択と並行した妊孕性温存の意思決定支援

東京慈恵会医科大学附属病院 看護部 保木本あづさ

PS2-3 がん患者の妊孕性温存を目指した他職種連携：認定遺伝カウンセラー®の役割

東邦大学医療センター大森病院 産婦人科・臨床遺伝診療部 玉置 優子

PS2-4 閉経前乳がん患者に対するGnRHアゴニスト製剤中断/終了後の月経再開時期に関する検討

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 武井かほり

11:40~12:40

ポスターセッション3

E-Poster 会場1

Onco-Cardiology (腫瘍循環器病学) /PRO (Patient-Reported Outcome : 患者報告アウトカム) /IOP (Integration Oncology and Palliative care : 腫瘍学と緩和ケアの融合)

ファシリテーター：小茂田昌代 (医療法人徳洲会千葉西総合病院 薬剤部)

采野 優 (京都大学医学部附属病院)

- PS3-1 治療経過中に無症候性軽症アントラサイクリン関連心筋症を発症した急性骨髄性白血病に対し心保護薬併用により治療継続が可能であった一例
東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科 郡司 匡弘
- PS3-2 がんと循環器診療に関するアンケート調査
～アントラサイクリン関連心障害、免疫チェックポイント阻害薬関連心筋炎に関する認知度解析結果～
新潟県立がんセンター新潟病院 内科/新潟腫瘍循環器協議会 (OCAN) 三浦 理
- PS3-3 患者報告アウトカムを実臨床に実装する際の促進・阻害要因に関する文献調査
聖路加国際大学 奥山 絢子
- PS3-4 がん患者の Global QOL は生命予後と関連する -メタアナリシスによる検討-
関西医科大学リハビリテーション学部 理学療法学科 福島 卓矢
- PS3-5 心拍変動を用いた QOL 可視化アルゴリズム
京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学 東山 希実
- PS3-6 肺がん患者の治療前 QOL と死亡リスクの関連：システムティック・レビュー／メタアナリシス
静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室 岡山 太郎
- PS3-7 緩和ケア病棟入院患者の予後予測における経口摂取と身体症状の関連
東京大学医科学研究所附属病院 先端緩和医療科/日本赤十字社医療センター 緩和ケア科 伊藤 哲也
- PS3-8 急性期病院に新設された緩和ケア病棟退院後のがん薬物療法を施行することができた症例の検討
一宮西病院 緩和ケア内科 金澤 裕信

15:00~16:25

ポスターセッション4

E-Poster 会場1

医療者教育・患者支援

ファシリテーター：浅野 岳晴 (自治医科大学さいたま医療センター)

市川 靖子 (帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科)

- PS4-1 がん治療医はなぜ患者の予後を実際より長く予測してしまうのか？
函館五稜郭病院 緩和ケアチーム/函館五稜郭病院 精神科リエゾンチーム/
福井大学 医学部 腫瘍病態治療学講座 西本 武史
- PS4-2 A project : Enhancing Cognition of Brachytherapy in Gynecological Cancer Patients through Multimedia Education
China Medical University Hospital 蘇 美樺
- PS4-3 がん領域の認定看護師協働によるがん看護外来の介入状況
千葉市立海浜病院 看護部 中村 志穂
- PS4-4 がん診療における多職種で取り組む研修医教育
公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院 看護部 本間 裕樹

- PS4-5** 大規模災害の乳がん治療への影響-東日本大震災時の福島の患者体験に基づく質的調査-
 奨励賞 北海道大学 医学部医学科 金田 侑大
 若手・学生部門
- PS4-6** 「がん情報サービス」における遺伝性腫瘍コンテンツ作成の実際:多職種協働の一例と今後の展望
 国立がん研究センターがん対策研究所 がん情報提供部 堀抜 文香
- PS4-7** がん化学療法患者に適した治療環境の整備を目指して-院内すべてのがん薬物療法患者を化学療法室で受け入れのための取り組み-
 製鉄記念八幡病院 看護部 船越 翼
- PS4-8** 高齢がん患者診療ガイドラインの普及に向けた研修会の有用性評価と、がん診療連携拠点病院での普及に向けたロードマップ
 帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 渡邊 清高
- PS4-9** AYA世代がん患者の意思決定の困難さとその対応について -継続的なコミュニケーションの重要性-
 大阪府済生会吹田病院 看護部 佛願彰太郎
- PS4-10** 放射性医薬品;ルテチウムオキソドトロオチド (¹⁷⁷Lu) 注射液の取扱いにおける薬剤師教育プログラムの構築
 静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 鈴木 恵子
- PS4-11** がん専門相談員が実践する効果的な言語的コミュニケーションに関する検討
 -がんチャット相談における情報提供・相談支援に焦点を当てて-
 国立がん研究センターがん対策研究所 櫻井 雅代
- PS4-12** がん患者の苦痛スクリーニングシートの有効活用に向けた課題検討
 社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 廣澤 智恵

16:35~17:40

ポスターセッション5

E-Poster会場1

痛み(がん性疼痛など)/漢方

ファシリテーター: 里見絵理子(国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)
 上園 保仁(東京慈恵会医科大学疼痛制御研究講座)

- PS5-1** 当科における310例のがん疼痛患者に対するメサドンの投与経験
 静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科/静岡県立静岡がんセンター 緩和ケアチーム 佐藤 哲観
- PS5-2** シクロフォスファミドによる鼻道刺激感の現状と症状軽減方法に関する調査
 公立置賜総合病院 看護部 竹田美和子
- PS5-3** 「がん疼痛」および「がん治療関連疼痛」を対象とした治療開発マップの作成について
 国立がん研究センター 革新的がん研究支援室(PRIMO) 石橋 幸江
- PS5-4** 演題取り下げ
- PS5-5** 成分栄養剤の抗癌剤投与患者へのコンプライアンス向上の工夫
 岐阜大学医学部 消化器外科・小児外科 田中 善宏
- PS5-6** 転移性骨腫瘍治療中の薬物関連顎骨壊死の痛みミロガバリンが奏功した末期腎不全がん患者の1症例
 香川大学医学部附属病院 がんセンター/香川大学医学部 臨床腫瘍学講座 村上あきつ
- PS5-7** 筋筋膜性疼痛症候群に対して超音波・電気のCombination刺激と運動療法の併用が有効であった進行がん患者の一症例
 社会医療法人 黎明会 北出病院 リハビリテーション科 日比 彰彦

- PS5-8 乳がんサバイバーのホットフラッシュに対して女神散が有効であった1例
越谷市立病院 糸賀 知子
- PS5-9 口腔粘膜炎モデルにおけるグリチルリチン酸の有効性検証
広島大学大学院 医系科学研究科 口腔炎症制御学共同研究講座 芝 典江

17:55~19:00 ポスターセッション6

E-Poster 会場1

アピアランスケア1

ファシリテーター：野澤 桂子(目白大学看護学部 看護学科)
柳 朝子(国立がん研究センター中央病院看護部)

- PS6-1 がん経験者の治療による衣生活への影響
公立小松大学保健医療学部 看護学科 松井 優子
- PS6-2 頭皮冷却装置を使用して乳癌周術期化学療法を受けた患者の頭皮冷却に対する満足度と脱毛に関連した心理社会面への影響
社会医療法人 鶴谷会 鶴谷病院 門倉 紀子
- PS6-3 都道府県がん診療連携拠点病院におけるアピアランスケアセンター開設に連携医として関わった経験
アピアランスビューティクリニック 堀口 和美
- PS6-4 医療美容師のアピアランスケアによるQOL向上への取り組み
ランプス医療美容認定協会 尾熊 英一
- PS6-5 急性期混合病棟へ再編された部署での看護師によるアピアランスケアの認識調査
大阪市立総合医療センター 看護部 遠藤 史子
- PS6-6 医療アートメイクと抗がん剤治療患者における医療連携の必要性(第二報)
女性医療クリニックLUNA ネクストステージ メディカルビューティーラボ 鈴木 未沙
- PS6-7 当院におけるアピアランスケア外来での支持療法サポート～外来・病棟・化学療法センターでの介入～
東北労災病院 瀬戸真由美
- PS6-8 がん治療に伴う外見変化の悩みに対する化粧によるアピアランスケアの有用性に関する検討
株式会社資生堂 池山 和幸
- PS6-9 抗がん剤誘発脱毛における皮膚毛包周囲の変化と治療ターゲットの検討
大分大学医学部 先端がん毛髪医療開発講座[アデランス] 河野 洋平

5月18日(土)【E-Poster会場2】

9:40~10:30

ポスターセッション7

E-Poster会場2

FN (発熱性好中球減少症) /Oncology emergency (腫瘍緊急症)

ファシリテーター：吉田 稔(帝京大学医学部附属溝口病院 第4内科)
高橋 俊二(がん研究会有明病院 総合腫瘍科)

- PS7-1 ペグフィルグラスチムの使用によりFOLFOXIRI療法の治療強度を保つことができた大腸癌肝転移の症例
東京女子医科大学 化学療法・緩和ケア科 倉持 英和
- PS7-2 乳がん周術期化学療法におけるジーラスタ投与状況の検討
埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 松浦 一生
- PS7-3 低LMRは自家移植後骨髄腫患者におけるVZV感染症発症のリスク因子
東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科 佐藤 耕平
- PS7-4 当院におけるジーラスタ[®]皮下注3.6mg ボディーポッドの使用状況
～看護師の役割を考察する～
埼玉医科大学国際医療センター 看護部 大畑 恭乃
- PS7-5 ポリエチレングリコール化顆粒球コロニー形成刺激因子(PEG-G-CSF)導入の経過
順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センター 瀬沼 亮子
- PS7-6** 間質性肺炎合併胸部悪性腫瘍に対するタルクを用いた胸膜癒着術の安全性および有効性の後方視的検討
優秀賞 一般部門
順天堂大学医学部附属順天堂医院 呼吸器内科 葛 航晨
- PS7-7 いかに迅速に遺伝子パネルの結果を届けるか。進行期非小細胞肺癌における新鮮凍結検体を用いたAMOYパネルの活用
大阪国際がんセンター 呼吸器内科 國政 啓

10:40~11:25

ポスターセッション8

E-Poster会場2

高齢者のがん治療

ファシリテーター：津端由佳里(島根大学医学部附属病院)
小川 朝生(国立がん研究センター東病院)

- PS8-1 初回再発した老年期の造血器腫瘍患者が捉える化学療法への構え
徳島大学大学院 保健科学研究科 明石 和子
- PS8-2 外来がん薬物療法を受ける高齢がん患者の聞こえに関わる医療者とのコミュニケーションの特徴
大阪大学医学部附属病院 看護部 池田香菜子
- PS8-3 高齢がん患者に対する治療方針のためのGAとCARGスコアの導入
川西市立総合医療センター 薬剤部/京都薬科大学 履修証明プログラム 沢 仁美
- PS8-4 乳癌外科治療における高齢者機能評価の意義について
誠馨会 新東京病院 乳腺外科 森園 英智
- PS8-5 高齢者III期NSCLCにCDDP+S-1 (SP) -based CRTはPACIFIC戦略の有望レジメンになり得るか? ~SAMURAI study探索的解析結果から考える~
帝京大学医学部 丹澤 盛

PS8-6 EORTC-QLQ-C-30 質問票を用いた理想と現実の乖離の評価
～高齢の進行肺がん患者の1症例の検討～

静岡県立静岡がんセンター 看護部 杉山 美和

11:35~12:40 ポスターセッション9

E-Poster 会場2

サバイバーシップ1/遺族家族支援

ファシリテーター：高橋 孝郎(埼玉医科大学国際医療センター)
大西 秀樹(埼玉医科大学国際医療センター)

PS9-1 岐阜市立中央図書館における多職種チームのサバイバーシップ活動

岐阜県立多治見病院 放射線部/がん・トーク会岐阜県チーム 馬場 雅子

PS9-2 男性がん患者サロン「くすの木」の活動報告と今後の課題

東京慈恵会医科大学附属病院 港区立がん在宅緩和ケア支援センター ういケアみなと 小川 美咲

PS9-3 がんサバイバーの自覚症状が労働能力に与える影響の検討

最優秀賞
若手・学生部門

理化学研究所 先端データサイエンスプロジェクト 華井 明子

PS9-4 がん患者に対する困った配慮に関するPPIワークショップ

奨励賞
患者・当事者部門

NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ 米澤 晴美

PS9-5 愛知県における医療機関・大学アンケートから見えてきた若年AYA世代がん患者の就職活動
における連携支援の課題と展望

仕事と治療の両立支援ネットーブリッジ 服部 文

PS9-6 当院におけるがん相談支援センターの過去5年間の実績

横浜市立大学附属市民総合医療センター 看護部 和田 伸子

PS9-7 パートナーをもつ中年期早期子宮がん患者の子宮全摘出術後のセクシュアリティに関する体験

港区立がん在宅緩和ケア支援センター 渡部 愛

PS9-8 がんの「家族や友人等に負担をかける」イメージの背景要因と公的・非公的な支援の利用意向
に関する検討

静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 高山 智子

PS9-9 患者の療養に対する家族の思いに関連する要因の検討：家族ががんと診断された場合を想定し
た一般市民の認識

国立がん研究センターがん対策研究所 がん情報提供部 齋藤 弓子

15:00~16:35 ポスターセッション10

E-Poster 会場2

骨転移と骨の健康

ファシリテーター：成田伸太郎(秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座)
余宮きのみ(埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)

PS10-1 骨転移は進行性尿路上皮癌に対するペンブロリズマブの治療効果および予後に関連する

秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座 成田伸太郎

PS10-2 去勢抵抗性前立腺癌におけるRadium-223治療後の骨折に関する検討

東京医科大学 放射線医学分野 吉村 真奈

PS10-3 Bone Modifying Agentsの早期使用に関する文献的検証－骨転移診断から6ヶ月以内の
BMA使用はSRE発症を延長する－

湘南医療大学 薬学部 佐藤 淳也

- PS10-4 転移性骨腫瘍の治療に関連する大腿骨非定型骨折の検討
国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 戸田 雄
- PS10-5 Ra223投与後に顎骨壊死を生じた1例
公立館林厚生病院 放射線治療科 永田 和也
- PS10-6 当院における放射線性顎骨壊の局所リスク因子ならびに転帰に関する検討-口腔内編-
国立がん研究センター中央病院 歯科 八岡和歌子
- PS10-7 電子カルテ情報を用いた秋田県における骨転移診療のベースライン情報の収集
秋田大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学講座 島津 和弘
- PS10-8 多職種による姿勢・動作管理を要した肝内胆管癌第4頸椎骨転移症例
順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室 吉田 彬
- PS10-9 急激なADL・QOL低下をきたした肺癌骨転移症例に対する理学療法～多職種協働アプローチにおける役割～
順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室 鈴木 千尋
- PS10-10 多職種連携による骨転移カンサーボードを開催するためのスタッフ教育とシステム作りに関する考察
秋田大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学講座 柴田 浩行
- PS10-11 演題取り下げ
- PS10-12 【活動報告】当院における骨転移リハビリテーションカンファレンスの取り組み～開始から10年の活動報告～
(一財)総合南東北病院 リハビリテーション科 高野 稔
- PS10-13 5年目を迎えて、骨転移カンファレンスを開催する意義を考える～各職種が共通目標に向かって加速した症例を交えて～
白河厚生総合病院 リハビリテーション科 円谷 公洋

16:45～17:30 ポスターセッション11

E-Poster 会場2

Stroke Oncology (腫瘍脳卒中) / 補完代替療法 / リンパ浮腫

ファシリテーター：柳澤 俊介 (国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科)
松井 優子 (公立小松大学保健医療学部)

- PS11-1 腫瘍関連脳卒中と院内対応整備の重要性
埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中センター 柴田 碧人
- PS11-2 当センターにおけるTrousseau症候群の検討
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 柳澤 俊介
- PS11-3 がん治療における補完代替療法および民間療法に関する医療従事者の経験と対応についてのオンライン調査研究：HERO-CAM study
市立札幌病院 消化器内科/NPO法人北海道がんサポーターケア協会 中村 路夫
- PS11-4 下唇有棘細胞癌患者のがん性潰瘍臭に対するティートリーアロマオイルの消臭効果
国保水俣市立総合医療センター 外来化学療法センター 山口 玲子
- PS11-5 乳がん内分泌療法による関節痛に対する鍼灸治療
国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 堀口 葉子
- PS11-6 ドセタキセル投与モデルマウスにおける間質液動態の定量的評価
藤田医科大学大学院 保健学研究科/名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻 間脇 彩奈

チーム医療・多職種ケア

ファシリテーター：西森 久和 (広島市民病院 血液内科)
 岡本 禎晃 (敦賀市立看護大学)

- PS12-1 **がん患者指導管理 (イ) (ロ) の実際**
川西市立総合医療センター開院から一年を振り返って
 川西市立総合医療センター 平安奈美子
- PS12-2 **切除不能進行再発胃癌、大腸癌に対して在宅死を目指した多職種連携**
 池上総合病院 外科 / 第二川崎幸クリニック 外科 伊藤 慎吾
- PS12-3 **外来化学療法センターにおける課題対策リストを用いた問題点抽出の取り組み**
 NTT 東日本関東病院 薬剤部 加戸 寛子
- PS12-4 **オシメルチニブの治療継続性に及ぼす薬剤師による介入効果**
 愛知医科大学病院 薬剤部 築山 純代
- PS12-5 **当院における患者さんの意向の聞き取りアンケートを、多職種での患者支援に活用する取り組み**
 JA 秋田厚生連 秋田厚生医療センター 呼吸器内科 守田 亮
- PS12-6 **がん治療による皮膚障害に対する多職種連携の取り組み**
～セツキシマブ・パニツムマブ投与患者の皮膚障害支持医療の評価～
 聖隷浜松病院 外来看護課 齋藤 佳代
- PS12-7 **がん治療に伴う皮膚障害に対する多職種連携の取り組み**
 総合病院 聖隷浜松病院 看護部管理室 大杉 純子
- PS12-8 **他院から紹介された治験患者に対して多職種連携で早期に QOL 改善を図った 1 事例**
 和歌山県立医科大学 麻酔科学講座 / 和歌山県立医科大学附属病院緩和ケアセンター 月山 淑
- PS12-9 **シリンジポンプを用いたドラツムマブ皮下注射の安全性と有効性**
 東京慈恵会医科大学附属病院 看護部 並木 佳世